

別紙①

職務育成品種の特性

作物名	りんご	系統名	リンゴ <sup>ちようか</sup> 長果36	育成場	果樹試験場			
【品種特性の概要】								
1 10月上旬から中旬に成熟する中生種で、果実の大きさは400g程度、果形は球形、果皮色は紫紅色である。								
2 糖度は14%程度、酸含量は0.20～0.25/100mlで、糖度が高く酸含量が低い。「シナノスイート」に近い食味で、果肉が硬く歯触りがよい肉質である。								
3 リンゴ黒星病真性抵抗性遺伝子(Vf)を有している。その他、慣行防除下で問題となる病害虫の発生は認められない。								
4 果皮の着色が良好であり、食味が優れることから、「シナノスイート」に代わり、中生種の主力品種として期待できる。								
【対照品種との比較】								
表 果実品質の特徴								
品種、系統名	開花始期 (月/日)	満開期 (月/日)	成熟期 (月/日)	果実重 (g)	着色* 指数	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	酸含量 (g/100ml)
リンゴ長果 36	4/22	4/28	10/5	370	5.4	14.2	14.3	0.25
シナノスイート	4/23	4/28	10/13	335	3.6	12.1	15.1	0.25
注) 果樹試験場における令和6～7年の平均値。 *着色指数は「ふじ」用カラーチャート(1(微)～6(濃))による。								
【命名上の留意点】								
1 黒星病抵抗性を有しているので「星などの天文に由来する名前」や、果皮の着色が良いことから「紫紅色を連想する名前」等を希望。								



「リンゴ長果 36」の果実外観



果実断面

## 職務育成品種の特性

作物名	大豆	系統名	とうきん 東山239号	育成場	野菜花き試験場				
【品種特性の概要】									
1 青立ち※しにくく枯れ上りが良い多収の早生品種。									
2 莢がはじけにくく、収穫遅れ時や機械収穫時の収穫ロスの低減が見込まれる。									
3 「あやこがね」並みの成熟期であり、ほぼ同等の耐倒伏性を有する。収量は「あやこがね」より多い。									
4 「あやこがね」とほぼ同等の粗蛋白質含有率で、豆腐・煮豆・味噌・納豆の加工原料に適している。									
5 ダイズモザイクウイルス、ラッカセイわい化ウイルスに強い。									
<div>※青立ち（成熟不整合、莢先熟ともいう） 莢が熟して収穫適期となっても、茎の水分が高く青々している状態をいう。収穫時の汚粒発生に繋がる。</div>									
【対照品種との比較】									
表 形態的特性、生態的特性及び品質特性									
品種、系統名		成熟期 (月/日)	倒伏* (無～甚)	主茎長 (cm)	子実重 (kg/a)	標準対比* (%)	百粒重 (g)	蛋白質 (%)	全糖 (%)
* 標播区	東山 239 号	10/4	1.4	72	28.2	113	31.3	41.9	20.4
	あやこがね	10/5	1.6	66	24.9	100	32.5	42.5	21.6
晩播区	東山 239 号	10/15	2.6	70	34.7	113	33.1	44.2	21.3
	あやこがね	10/16	2.0	68	30.8	100	32.7	43.3	22.4
注) 標播区、晩播区ともに、野菜花き試験場における平成 30～令和 4 年の平均値。 * 播種期は、標播区が 6 月上旬、晩播区が 6 月下旬～7 月上旬。 * 倒伏の程度は、0 (無), 1 (微), 2 (少), 3 (中), 4 (多), 5 (甚) の 6 段階評価。 * 標準対比は、「あやこがね」を標準とした子実重の比率。									
【命名上の留意点】									
1 枯れ上がりが良くて多収の早生品種であることがイメージできる名称									
2 良質大豆として、全国の大豆産地から幅広く親しみが得られる名称									



東山 239 号 ← → あやこがね  
草本の形態



東山 239 号 ← → あやこがね  
収穫期の枯れ上り状況

## 職務育成品種の特性

作物名	大豆	系統名	とうきん 東山241号	育成場	野菜花き試験場
-----	----	-----	----------------	-----	---------

### 【品種特性の概要】

- 1 極大粒だが、青立ち※が少なく枯れ上りが良いやや晩生の品種。
- 2 莢がはじけにくく、収穫遅れ時や機械収穫時の収穫ロスの低減が見込まれる。
- 3 成熟期は「つぶほまれ」と同等で、「つぶほまれ」より生育時に倒れにくい。
- 4 「つぶほまれ」より粒が大きく、粗蛋白質含有率と全糖含有率が高く、豆腐・煮豆・味噌の加工原料に適している。
- 5 ダイズシストセンチュウに対して高度抵抗性を持つ長野県初の品種。  
ダイズモザイクウイルス、ラッカセイおい化ウイルスに強い。

※青立ち（成熟不整合、莢先熟ともいう）

莢が熟して収穫適期となっても、茎の水分が高く青々している状態をいう。収穫時の汚粒発生に繋がる。

### 【対照品種との比較】

表 形態的特性、生態的特性及び品質特性

品種、系統名	成熟期 (月/日)	倒伏 (無～甚)	主茎長 (cm)	子実重 (kg/a)	標準対比* (%)	百粒重 (g)	蛋白質 (%)	全糖 (%)
* 標播区 東山 241 号	10/18	1.3	72	33.6	136	43.6	44.6	22.0
つぶほまれ	10/21	1.9	78	24.7	100	40.5	41.4	21.7
ギンレイ	10/20	2.3	84	32.1	130	34.6	40.6	23.0
晩播区 東山 241 号	10/24	1.0	73	36.1	137	45.2	44.4	22.8
つぶほまれ	10/26	2.2	78	26.5	100	39.7	41.2	22.6
ギンレイ	10/26	1.3	81	33.5	127	33.7	40.2	23.8

注) 標播区、晩播区ともに、野菜花き試験場における令和3～6年の平均値。

\*播種期は、標播区が6月上旬、晩播区が6月下旬～7月上旬。

\*倒伏の程度は、0(無), 1(微), 2(少), 3(中), 4(多), 5(甚)の6段階評価。

\*標準対比は、「つぶほまれ」を標準とした子実重の比率。

### 【命名上の留意点】

- 1 極大粒で枯れ上がりがよく、シストセンチュウ高度抵抗性を有することがイメージできる名称
- 2 良質大豆として、全国の大豆産地から幅広く親しみが得られる名称



東山 241 号 ← → つぶほまれ  
草本の形態



東山 241 号 ← → つぶほまれ  
収穫期の枯れ上り状況

